

Japan Artificial Intelligence Systems and Data Analytics (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Artificial Intelligence Systems and Data Analytics (Japanese Version)」では、国内における AI システム（人工知能関連システム）、ビッグデータ、アナリティクスの分野に焦点を当てた調査を行います。そして情報システム部および LOB の観点から主な市場動向、競争状況、テクノロジー、ソリューション、およびエンドユーザーの購買行動について調査を行います。また、同調査では国内における成熟度、機能市場、垂直（中分類）市場レベル毎に成長分野を特定し、市場における需要と供給の動向を合わせて考察します。そして、AI アプリケーションの開発や AI を活用したデータ分析/管理に必要なプラットフォームに関する市場動向を理解するための有益な定量的かつ定性的なインサイトを提供します。なお、2022 年はデータマネジメントおよびデータ活用基盤（プラットフォーム）について調査を強化しています。

Markets and Subjects Analyzed

- AI システム 関連ハードウェア/サービス
- AI ライフサイクルソフトウェア（データラベリング、AI ビルド、MLOps、信頼できる AI）
- AI ソフトウェアサービス（テキスト/音声 AI、画像/動画 AI、ドキュメント認識 AI）
- 検索（インテリジェントナレッジディスカバリー）ソフトウェア
- アナリティクス/ビジネスインテリジェンス
- データマネジメント
- AI ユースケース

Core Research

- 国内 AI システム 市場予測
- 国内 AI システム/データアナリティクス 企業ユーザー動向調査
- 国内 データマネジメントの市場動向
- 国内 データプラットフォームの採用動向
- 国内 インテリジェントプロセスオートメーションの採用動向
- Market Analysis Perspective: Japan Artificial Intelligence Systems and Data Analytics
- 国内アナリティクス/AI プラットフォーム市場予測とシェア
- 国内 BDA/データマネジメント市場予測
- IDC FutureScape: Worldwide Artificial Intelligence 2022 Predictions - Japan Implications
- IDC FutureScape: Worldwide Data and Analytics 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Artificial Intelligence Systems and Data Analytics \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- 各ソフトウェア市場における市場規模と成長率はどうなっていくのか？
- 各ソフトウェアベンダーの売上金額とシェアの動向はどうなっているか？
- AI ソフトウェア市場やデータマネジメント市場に影響を与える技術や市場環境要因は何か、またベンダーは何をすべきか？
- ユーザーにおける AI システムの利用ニーズにどのような変化が出ているか、またユーザーは何をすべきか？
- ユーザーのデータマネジメントや活用基盤プラットフォームの実態はどうなっているか、最新ソリューションは何か？
- ユーザーの業務プロセスの自動化や高度化の実態はどうなっているのか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

ABEJA、Adobe、Automation Anywhere、AWS、Blue Prism、Cloudera、DataRobot、DOMO、Google、HPE、IBM、Informatica、Kofax、MathWorks、

Microsoft、NEC、NTT、Oracle、Qlik、Salesforce.Com、Snowflake、SAP、SAS、TeraData、Treasure Data、UiPath、東芝、日立製作所、富士通、その他